



日頃の備えと避難①

自宅編

災害はいつ起きるかわかりません。いざというときに慌てないように家族で防災会議を開き、日頃から防災意識を高めることが大切です。

役割分担を決める!



火を消す人、非常持ち出し品を管理する人など、災害時の役割分担を決めましょう。また、電気のブレーカーやガスの元栓の位置、消火器の位置と使い方などの確認も忘れずに。

連絡方法や集合場所を決める!



災害時に家族が一緒とは限りません。家族がバラバラになったときの連絡方法や、集合場所などを決めておきましょう。

裏表紙のわが家の防災メモを活用

避難所を確認しておく!



自宅から避難所まで歩いてみましょう。避難ルートに危険な箇所がないかなどを確認しておきましょう。

P13からのハザードマップで確認

地域編

災害が発生した場合、行政や防災関係機関も被災しています。地域で力を合わせて助け合い、自分たちのまちは自分たちで守るという「共助」の考えに基づいて行動することが大切です。

ご近所とコミュニケーションを!



災害時には近隣の住民同士の協力が必要です。ご近所との付き合いの輪を広げ、いざというときに助け合いましょう。

防災訓練に参加する!



いざというときのために避難訓練や消火訓練、応急救護訓練などに参加しましょう。

自主防災組織をつくろう!



町内会の集まりなどを利用して、自主防災組織づくりに向けた取り組みを進めましょう。日頃の活動やコミュニケーションが災害に強い地域づくりにつながります。

自主防災組織について

自主防災組織とは「**自分たちの地域は自分たちで守る**」という、地域住民の**共助の意識と連携**によって結成される**防災組織**のことです。

活動内容(例)

平常時

災害に備えるための活動を日頃から行います。

- ▶ 地域内の安全点検
- ▶ 防災知識の普及・啓発
- ▶ 防災訓練

災害時

災害発生時に協力しあい、被害の拡大を防ぐために行動します。

- ▶ 初期消火
- ▶ 避難誘導
- ▶ 救出・救助
- ▶ 情報の収集・伝達
- ▶ 避難所の管理・運営



